2025　年度 授業計画(シラバス)

学　科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生体機能学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	視聴覚室
担 当 教 員	山本 光信、 竹内 充香	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

看護実践の根拠となる基礎的な正常人体の構造と機能,およびその学術用語を学ぶ。人体の構造と機能は体の正常な生体機能に関する学問であり、医学に携わる人間全般の基礎科目として重要である。生体機能学Ⅰでは、生命を維持する植物機能の呼吸・循環・血液を中心に学習する。

《成績評価の方法と基準》

定期試験(100%)　※評価割合　　人体の構造(20%)、呼吸器(30%)、血液(10%)、循環器(40%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

人体の構造と機能〔Ⅰ〕解剖生理　(医学書院)

《授業外における学習方法》

教科書やプリントを読んで理解しながら覚える。わからないことは調べ、授業で学習した要点をまとめる。

《履修に当たっての留意点》

各部位や器官の名称については確実に覚えること。機能については系統的に理解していき、 病態と治療の講義の前に復習しておくこと。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体を構成する細胞の構造, それらの集合体である組織や器官の特徴とその構造を説明できる。	教科書 配布資料 視聴覚教材	教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分)
		各コマにおける授業予定	人体【体表から触知する人体の構造, 構造と区分, 部位と器官, 方向と位置を示す用語】について		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体を構成する細胞の構造, それらの集合体である組織や器官の特徴とその構造を説明できる。	教科書 配布資料 視聴覚教材	教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分)
		各コマにおける授業予定	細胞の構造の働きや組織の種類,特徴について		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	人体を構成する細胞の構造, それらの集合体である組織や器官の特徴とその構造を説明できる。	教科書 配布資料 視聴覚教材	教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分)
		各コマにおける授業予定	人体の恒常性と人体の器官系の機能について		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の構造と働きが説明できる。	教科書 配布資料 視聴覚教材	教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分)
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の構造【鼻腔, 喉頭】について		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の構造と働きが説明できる。	教科書 配布資料 視聴覚教材	教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分)
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の構造【上気道,下気道と肺,胸膜・縦隔】について(山本)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の構造と働きが説明できる。	教科書 配布資料 視聴覚教材	教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分)
		各コマにおける授業予定	呼吸【呼吸運動，呼吸筋，肺気量分画，努力呼気曲線，呼吸気のガス組成，肺におけるガス交換，酸素の取り込み，血液中のガス組成】について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の構造と働きが説明できる。	教科書 配布資料 視聴覚教材	教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分)
		各コマにおける授業予定	呼吸【生体の酸塩基平衡，呼吸中枢，呼吸反射，末梢性化学受容体，中枢性化学受容体，病的呼吸】について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液，組織液などの機能の説明できる。	教科書 配布資料 視聴覚教材	教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分)
		各コマにおける授業予定	血液の機能【血液の成分，血漿と血清，ヘマトクリット，赤血球の形態・数，ヘモグロビン，赤血球の新生と崩壊】について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液，組織液などの機能の説明できる。	教科書 配布資料 視聴覚教材	教科書を読み、わからない用語にアンダーラインを入れ調べる。(15分) 授業で学習した内容の要点を整理する。(30分)
		各コマにおける授業予定	血液の機能【ABO式，血液型，血液の凝固，トロンビンの形成，フィブリンの形成，血小板，抗凝血物質，血液のpH】について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。	教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備	授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習
		各コマにおける授業予定	心臓血管系の基礎、心臓の構造について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。	教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備	授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習
		各コマにおける授業予定	心臓の内腔と血液の流れ、弁、心臓の栄養血管、心臓の刺激伝導系について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。	教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備	授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習
		各コマにおける授業予定	動脈系について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。	教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備	授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習
		各コマにおける授業予定	静脈系について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。	教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備	授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習
		各コマにおける授業予定	胎児の血液循環(胎児循環)、リンパ系、脾臓、胸腺について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造と機能、血液循環の説明ができる。	教科書、配布資料、蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備	授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む 学習した内容を要点整理のプリントで復習
		各コマにおける授業予定	心臓と血管の生理について		